

日野 キャンパス

Hino Campus

【対象学部】

システムデザイン学部 主に3・4年次

※一部の専門授業は、2年次(後期)から日野キャンパスにて開講

キャンパスへのアクセス

■所在地

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6
TEL.042-585-8606 (代表)

■アクセス

【JR線】

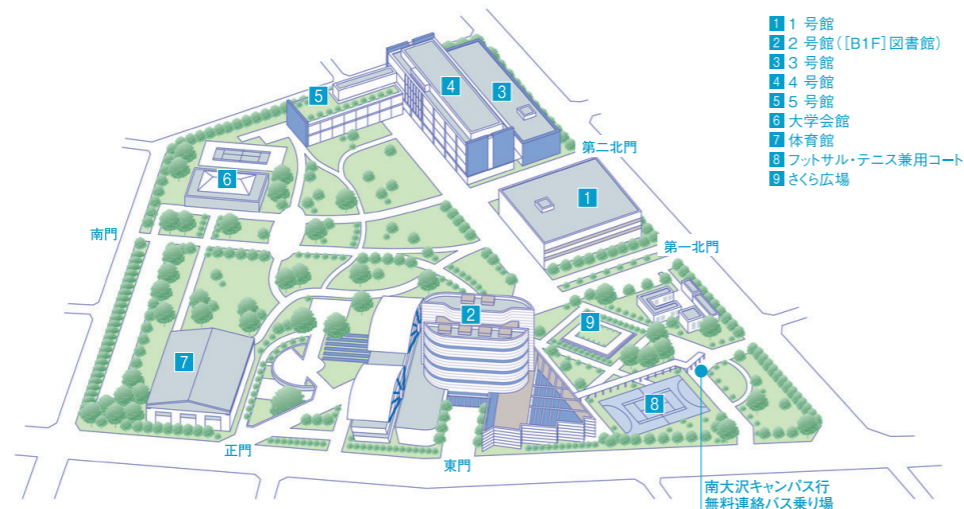
・中央線「豊田」駅(北口)から徒歩約20分。または京王バス「平山工業団地循環」乗車(約10分)、「旭が丘中央公園」下車徒歩約5分
・中央線「八王子」駅(北口)から京王バス「日野駅行」または「豊田駅北口行」乗車(約15~30分)、「大和田坂上」下車徒歩約10分
・八高線「北八王子」駅から徒歩約15分

【京王線】

・京王八王子「西口」から京王バス「日野駅行」または「豊田駅北口行」乗車(約15~30分)、「大和田坂上」下車徒歩約10分

最新の研究設備を取り揃えた、 システムデザイン学部のキャンパスです。

システムデザイン学部の主に3・4年次が学ぶキャンパスです。
南大沢キャンパス間とは無料連絡バスの定期運行で、2年次からの専門課程も安心。
徹底した少人数制教育により、本学が誇る最新・最先端の実験・研究設備を自分の研究に使用することができます。



- 1 1号館
- 2 2号館 (B1F) 図書館
- 3 3号館
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 学生会館
- 7 体育館
- 8 フットサル・テニス兼用コート
- 9 さくら広場

南大沢 キャンパス

Minami Osawa Campus

【対象学部】

人文社会学部 1~4年次

法学部 1~4年次

経営経済学部 1~4年次

理学部 1~4年次

都市環境学部 1~4年次

システムデザイン学部 主に1・2年次

健康福祉学部 1年次

キャンパスへのアクセス

■所在地

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
TEL.042-677-1111 (代表)

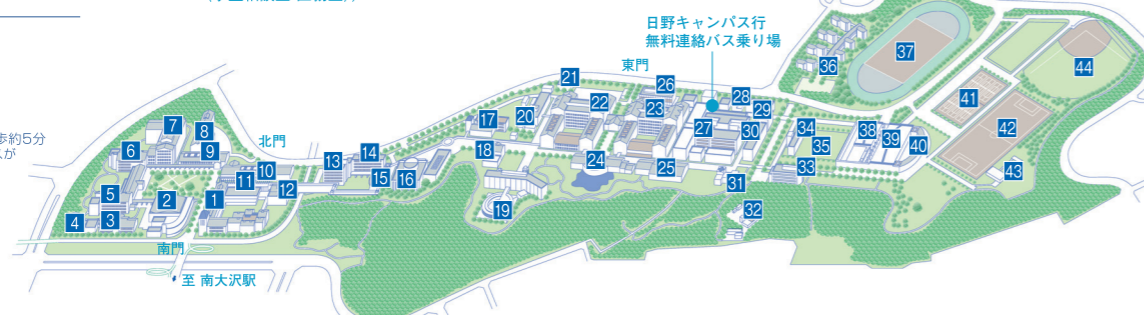
■アクセス

【京王線】
・京王相模原線「南大沢」駅、改札口から徒歩約5分
※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。

東京郊外の自然の造形を活かして設計された、 広くて開放的で緑豊かな地域密着型キャンパスです。

南大沢キャンパスの敷地面積は、東京ドーム9個分に相当。
京王相模原線南大沢駅から徒歩5分のキャンパスは、自然環境にも恵まれています。
構内には学習・研究施設、運動施設のほか、いたるところに憩いの場も配置。
学生だけでなく地域住民にも開放された地域密着型のキャンパスです。

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1 1号館 教室棟
学生サポートセンター(学生課)
首都大学東京管理部(教務課) | 11 インフォメーションギャラリー
12 AV 棟
13 生協購買書籍部
14 学生ホール
15 生協食堂
16 図書館本館 ダイバーシティ推進室
17 情報処理施設
18 牧野標本館
19 国際交流会館
20 RI 研究施設
21 飼育棟
22 8号館 理学部
都市環境学部 | 23 9号館 理学部
都市環境学部
24 11号館 理工教室棟
25 12号館 理工教室棟
26 フロンティア研究棟
27 10号館 実験棟
28 環境保全施設
29 総合飼育実験棟
30 栄養・食品科学 観光科学研究棟
31 カフェテリア館
32 温室・実験圃場
33 13号館 | 34 プロジェクト
研究棟
35 多目的運動場
36 学生寮
37 陸上競技場
38 屋内温水プール
39 体育館
40 サークル棟
41 テニスコート
42 球技場
43 和・洋弓場
44 野球場 |
|--|--|---|--|



首都大学東京
システムデザイン学部
電子情報システム工学科

平成29年6月発行
編集・発行/首都大学東京 システムデザイン学部
電子情報システム工学科



石油系溶剤を含まないインキを使用しています 再生紙を使用しています。

2018 首都大学東京 システムデザイン学部 電子情報システム工学科

Faculty of Systems Design Tokyo Metropolitan University
Department of Electrical Engineering and Computer Science

学科案内

Department Information

情報システムコース

Computer Systems Program

電気通信システムコース

Electrical and Computer Engineering Program

電子情報システム工学科

http://www.eecs.sd.tmu.ac.jp/

情報システムコース / 電気通信システムコース

情報ネットワーク、通信、エネルギーの連携&融合で、近未来の社会基盤づくりに貢献します。

コンセプト

近年の国勢調査によれば、わが国における技術者の種類別割合では「情報系技術者」が最も多く、次いで「電気・電子・通信系技術者」が多いとされています。しかも、このふたつを合わせると、全技術者の半数を上回る比率を占めるという結果になります。まさに、情報系と電気電子通信系は、この国の社会と産業の維持・発展に必要不可欠な技術分野であるといえるでしょう。

こうした背景を踏まえて、電子情報システム工学科では、「情報システムコース」と「電気通信システムコース」のふたつの教育課程を設置しました。情報技術分野と電気電子通信技術分野は密接に関係しており、特に、両者の境界・融合領域として通信系技術が位置づけられます。本学科では、「情報ネットワークシステム領域」、「通信システム領域」、「エネルギー情報システム領域」の3つを教育・研究体系の主要な柱と考え、情報システムコースでは情報ネットワークシステム領域と通信システム領域を中心とした学びの体系を、また、電気通信システムコースでは通信システム領域とエネルギー情報システム領域を中心とした学びの体系を提供します。現在および未来の社会・産業の要請に応える、情報システム技術や電気電子通信システム技術の素養と実践力をソフトウェアからハードウェアまで幅広く身につけ、それらの技術を融合した新たな技術を創生できる「底力」のある技術者・研究者を育みます。

カリキュラム

情報システムコース、電気通信システムコースともに、1年次および2年次前期には、教養科目や基礎科目を学び、基礎学力と幅広い視野を養います。あわせて専門教育科目の共通基礎科目やコース導入科目を履修し、専門分野への自分の興味と適性を見極めながら、高度な知識の修得に備えます。2年次後期からは、自らの将来ビジョンや関心にあわせて、ふたつのコースのどちらかを選びます。情報システム技術、あるいは電気電子通信システム技術の専門家となるためのコース専門科目と実験科目がそれぞれに用意されています。3年次後期には、本学科が主要な教育・研究の柱として位置付ける、情報ネットワークシステム領域、通信システム領域、エネルギー情報システム領域から提供される領域専門科目の履修が始まります。各自が興味あるテーマや、のちの研究課題につながる内容などを意識しながら専門性を高めていきます。4年次では、指導教員ひとりに対して4人程度の学生という恵まれた環境のもと、電子情報システム工学特別研究を履修し、具体的なテーマに取り組みながら研究の手法を学び、問題解決能力を養います。本学科のカリキュラムは、ソフトウェアからハードウェアまでの、あるいは情報からエネルギーまでの極めて広い範囲で多彩な科目を配当しており、コースの枠を越えて情報システム技術と電気電子通信システム技術を修得できるよう、学問的な系統を重視しながらも比較的自由度の高い編成となっていることも特徴です。



電子情報システム工学科におけるコースの考え方

求める学生像

1. 情報システム技術、電気電子通信システム技術、またそれらを融合した新しい技術を社会や産業に展開することに興味を持っている人
2. 新しいことへチャレンジする精神が旺盛で、技術者に必要な課題発見能力、計画立案・遂行能力、チームワークなどの素養を身につけたい人
3. ソフトウェアとハードウェアを総合的に学びたい人

情報システム コース

今日のわが国においては、人災や天災への対策、防犯、防疫、食品の安全性の確保、社会の高齢化、行政の電子化にともなう個人情報保護といった、現代の社会・産業が抱える諸問題が大きくクローズアップされ、それらの解決が求められています。これらの問題に対処するには、情報を効果的に収集し、それを円滑に流通させ、さらに適切に処理することがきわめて重要です。それらは、高度情報化社会を実現し持続的に発展させていくための技術的な基盤としてだけでなく、著しい成長を続ける情報技術産業をはじめとするすべての産業を支える基幹技術としても不可欠です。情報システムコースでは、このような社会と産業の発展に寄与する情報システム

関連技術を幅広く学び、新時代を切り開くことのできるICT (information and communication technology) 技術者・研究者を育成します。

この目的を達成するために、安全で円滑な情報の流通をもたらす情報ネットワーク分野や、社会を構成する人間とそれを取り巻く環境に対する効果的なセンシングなどを実現する通信技術分野、社会および産業の視点からシステムを解析、評価、設計、最適化する社会情報システム分野といった、複合的な学問領域について、上記の諸問題にアプローチすることをめざした総合的な教育を行うのが本コースの特色です。

履修モデル ● 2年次前期までは広く基礎的な科目を学び、同後期からコースを選択してより専門的に学びます。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育				
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業				
基盤科目群	人文科学領域、社会科学領域、自然科学領域、健康科学領域				
専門教育科目群	共通基礎科目(選択必修) 電子情報システム工学特別講義I プログラミング基礎演習I 情報数学I データ構造とアルゴリズムI 論理回路 基礎電気回路	プログラミング基礎演習II 形式言語とオートマトン データ構造とアルゴリズムII 言語処理系 計算機システム 電気通信数学I 回路理論 基礎電磁気学	電子情報システム工学特別講義II		
		コース専門科目(選択必修) 実践数値計算 信号処理 電気通信数学II データ構造とアルゴリズム演習 ソフトウェア構成論 ソフトウェア設計論 離散数学 コンピュータネットワーク その他にも自由選択科目5	情報理論 基礎制御理論 応用確率論 応用統計学 ディジタル通信 液動計測処理 情報論理学 コンピュータアーキテクチャ基礎論 オペレーティングシステム オブジェクト指向型言語 ソフトウェア工学 計算理論 情報セキュリティ インターネット 計画工学 その他にも自由選択科目6	領域専門科目(選択必修) 現代計算機アーキテクチャ プログラミング言語論 アルゴリズム解析 並列処理 オペレーティングシステム・エンジニアリング 情報システム基礎 パターン認識 無線ネットワーク 医用システム工学 スクリプト言語演習 信頼性工学 その他にも自由選択科目5	
		コース導入科目(必修) 電子情報システム工学概論			分散処理 モデリングとシミュレーション 暗号理論 符号理論 画像処理 エンベデッドシステム その他にも自由選択科目4
		演習・ゼミナール(選択) / 実験科目・特別研究(必修) 電子情報システム工学実験・演習	情報システム実験I	情報システム実験II	電子情報システム工学特別研究1 電子情報システム工学特別研究2
		学部共通科目(選択) 科学技術英語第一、同第二、システムデザイン論、インターンシップ、産業と法規			

電気通信システム コース

電気電子通信システム技術は、人々の生活を支えるライフラインとしての電力供給から、情報通信機器、運輸、社会システム、医療・生命科学、宇宙開発、環境、その他極めて多様な分野において不可欠とされる技術です。また、将来の新しい技術の要所にも電気電子通信システム分野の知識が重要な役割を果たします。さらに近未来には、人類の活動エネルギーのほとんどが、電気エネルギーに依存すると予想されています。本コースでは、このような多様な分野の技術に関わることができ、その発展に貢献できる人材を育みます。具体的には電気・電子の材料とその特性、電磁気学、電気電子回路、制御理論、エネルギー

の変換・制御、情報通信、情報処理に関する分野を学ぶと同時に、それらを取り巻く分野や領域を越えた新しい学問を、理論及び実験を通して効果的・効率的に学習します。また、卒業後の進路である企業の専門技術者、あるいは研究者にとって不可欠な技術の核となる、基礎力や応用力を、そして、技術者としてだけでなく、社会人として生涯にわたり自己を磨き向上させることのできる力を身につけます。これにより、幅広い技術分野において主体的に課題の発見・解決を行い、将来リーダーとして活躍することのできる人材の育成をめざします。

履修モデル ● 2年次前期までは広く基礎的な科目を学び、同後期からコースを選択してより専門的に学びます。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育				
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業				
基盤科目群	人文科学領域、社会科学領域、自然科学領域、健康科学領域				
専門教育科目群	共通基礎科目(選択必修) 電子情報システム工学特別講義I プログラミング基礎演習I 情報数学I データ構造とアルゴリズムI 論理回路 基礎電気回路	プログラミング基礎演習II 形式言語とオートマトン データ構造とアルゴリズムII 言語処理系 計算機システム 電気通信数学I 回路理論 基礎電磁気学	電子情報システム工学特別講義II		
		コース専門科目(選択必修) 実践数値計算 信号処理 電気通信数学II 電子回路 通信工学 回路理論演習 その他にも自由選択科目5	情報理論 基礎制御理論 応用確率論 応用統計学 ディジタル通信 液動計測処理 パワーエレクトロニクス 電力システム工学 半導体工学 電気回路解析論 電子回路演習 その他にも自由選択科目9	領域専門科目(選択必修) パターン認識 無線ネットワーク 医用システム工学 スクリプト言語演習 信頼性工学 電気電子材料 電気エネルギー機器構成論 光電波伝送工学 計測・センサ工学[計測工学] 最適化理論 その他にも自由選択科目6	
		コース導入科目(必修) 電子情報システム工学概論			符号理論 画像処理 エンベデッドシステム 光エレクトロニクス 電気エネルギー工学 プラズマ工学 現代制御理論 その他にも自由選択科目3
		演習・ゼミナール(選択) / 実験科目・特別研究(必修) 電子情報システム工学実験・演習	電気通信システム実験I	電気通信システム実験II	電子情報システム工学特別研究1 電子情報システム工学特別研究2
		学部共通科目(選択) 科学技術英語第一、同第二、システムデザイン論、インターンシップ、産業と法規			

授業・研究室ピックアップ

ネットワーク情報工学研究室／朝香 卓也 教授

IoT社会の到来を見越した、一歩先を行く情報通信サービスの実現に向けた研究です。

発展の早いネットワーク技術や情報システム技術を常にキャッチアップし、時代の最先端となる情報通信サービスの研究開発を行っています。IoT時代の到来を見越した研究としては、センサネットワーク、オーバーレイネットワーク、ad-hocネットワーク等のさまざまな自律分散型ネットワークの技術の研究開発、さらにタブレットやウェアラブルデバイス等に配備される各種センサやアクチュエータなどで活用した新たな情報ネットワークサービスとシステムの創出をめざしています。併せて、ネットワークサービスを受容するユーザー環境に適応した情報システム技術、あるいは環境情報を活用した新たな環境情報サービスの開発も行っています。また、情報システムを利用するユーザーの置かれた環境、例えば高速移動時や甚大災害発生時など物理的空間環境に適応した情報システムの構築、あるいはユーザーやサービスのコンテキスト情報やビッグデータから得られたさまざまな環境情報に則した、利便性の高い快適な情報通信サービスの実現をめざした研究を行っています。

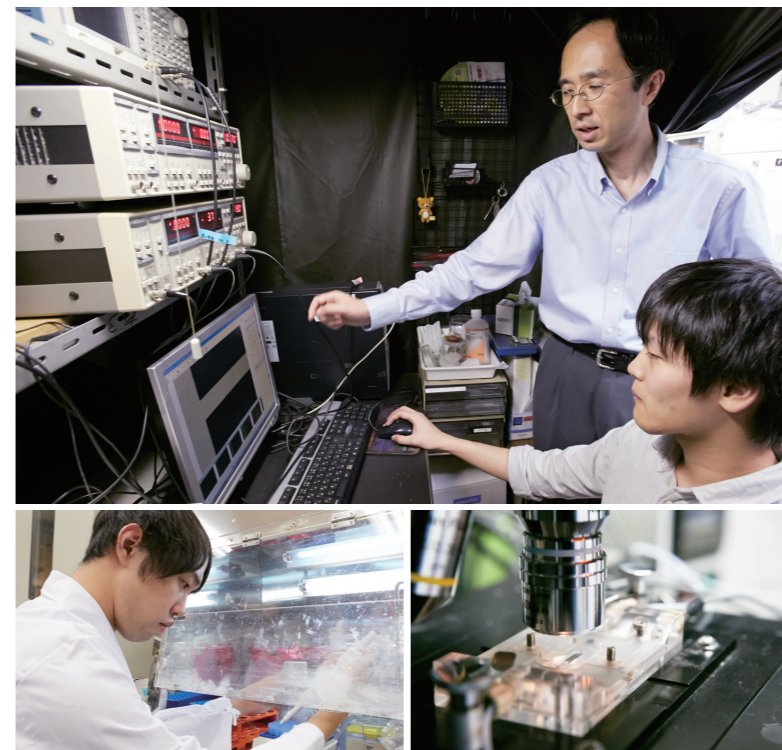


授業・研究室ピックアップ

マイクロ電気力学研究室／内田 諭 准教授

電気の技術を用いて細菌をコントロール。食品衛生管理をはじめ医療への適用という可能性も広がっています。

電気回路や半導体、電力システムなど、これまで培われてきた電氣的な技術を別の分野に適用し、新たな産業の基礎とすることを、実学の立場からめざしています。なかでも注目しているのがバイオ分野です。食品製造における衛生管理の不徹底や集団食中毒など、食に関する諸問題が多発しており、厳格な検査・処理体制が求められていますが、一般的に普及している培養を用いた細菌の検査方式では、時間もコストも掛かります。当研究室では電氣的な操作技術を利用することで、低コスト、短時間で菌体などをコントロールする技術の開発に取り組んでいます。すでに検出装置の開発には成功しています。大企業だけでなく、中小企業や個人経営の飲食店、さらには家庭への導入も十分考えられます。またこの技術を医療に適用することも夢ではありません。世界的に注目度が高まっている研究分野でもあります。ぜひ当研究室で、人の役に立つ研究の楽しさを実感してほしいと思います。



光計測システム工学研究室／柴田 泰邦 准教授

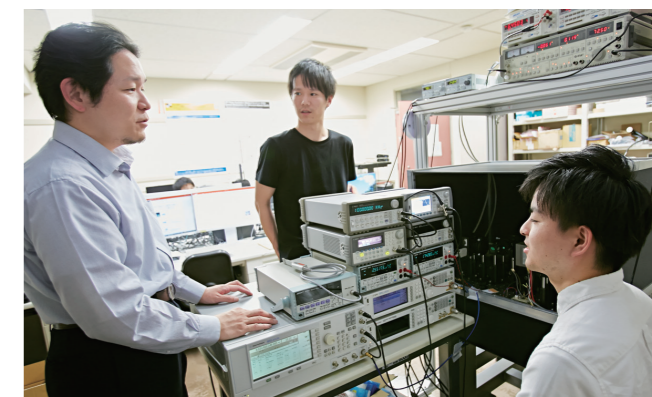
光の遠隔操作で大気の状態を観測。環境、防災対策への実用化が目標です。

上空にレーザー光などを照射して、はね返ってきた光線を解析することで、大気中に漂う物質の種類や量が計測できます。そんな光の特性に着目した遠隔観測法がライダー(LIDAR)です。すでに広く使われている電波を用いたレーダ観測にも似たシステムですが、電波は金属反射に優れている半面、物質によってはまったく反射しないものもあり、特に塵やダストといったエアロゾルの検出は苦手です。それに対してライダーなら、微小な化学物質も検出可能。ライダーを用いた環境汚染や火山活動による噴煙・有毒ガスの飛散状況の観測、水素ガスなどの漏洩検知といった防災対策への実用化をめざしています。

精密周波数発生・応用研究室／五箇 繁善 准教授

その誤差わずか数十万年に1秒。通信を、医療を、社会を変える超小型原子時計の開発をめざしています。

原子時計とは、原子の周りを回る電子に、レーザー光などをあてたときに吸収・放出する周波数を利用した時計です。「世界で最も高精度な測定ができる物理量」である周波数は、すでに、水晶振動子という超小型部品となって電子機器に組み込まれていますが、水晶振動子の周波数精度は有効桁数で6桁程度。18桁に及ぶ周波数の上限にチャレンジする原子時計は、その比ではありません。すでに縦横数センチのサンプルはできています。目標はスマホに搭載できるくらいにまで小型化すること。実現すれば、通信や医療、あるいは地震源の正確な把握など、多様な活用が期待できます。



在学生インタビュー



人に喜んでもらえるサービスの、工学的アプローチがテーマです。

呉 倩 経営システムデザインコース2年 中国出身

使いやすいフライングとは——人に優しいものづくりの技術と方法の探究もシステムデザインのテーマのひとつです。特にこれからの日本では少子高齢化が進み、高齢者でも使いやすい形が今以上に求められていると思います。将来の目標は先端技術を駆使したレストランの経営です。本学で学んだ知識と技術を総動員して、あらゆる人に高品質のサービスを提供したいと思います。



研究者としても実務者としても一流の先生方が首都大の強みです。

坂元 陽亮 情報通信システムコース4年 鹿児島県出身

幼いころからPCが身近にあったせいか、インターネットや通信機器に関心を抱いていた私は、「情報系の中心は東京」と東京への進学を志望しました。首都大を選んだのは「教授陣がスゴイ」という噂を耳にしたから。入学して、噂に間違いがないことを実感できました。整備が着々と進む日野キャンパスには、研究、実務両面の第一線で活躍する先生方が揃っています。

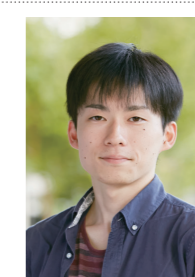
在学生インタビュー



ハードだけじゃない、ソフトだけじゃない、両方に精通したエンジニアをめざします。

大場 みさき 情報通信システムコース4年 東京都出身

2年次後期の基礎的な学生実験では、回路に関する理論を実験を通して学び直し、3年次前期の応用的な学生実験では、情報工学や通信工学における多様なテーマに取り組むための理論を実践的に学びながら、研究の進め方を身につけました。高校は科学技術科の出身です。ハード、ソフト両面を深く学ぼうと進学した首都大で、ステップアップする自分を実感しています。



電気機器に対する興味から入学して、将来につながる大きなテーマを見つけました。

白井 諒 電気電子工学コース4年 埼玉県出身

便利に、高度になる一方の電気機器の仕組みを探究したくて首都大で電気電子工学を学び進める中で、将来をかけて挑みたいテーマを見つけました。パワーエレクトロニクス——電気を効率的に使うためのシステムで、環境負荷を軽減するインフラ技術としても進化しています。しっかりと学んで、地球規模の大きな問題解決に貢献できるエンジニアをめざします。

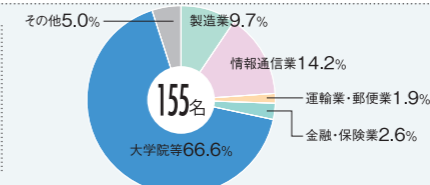
活躍が期待される未来イメージ

※本学科の前身となる

「都市教養学部 理工学系 電気電子工学コース」、システムデザイン学部「情報通信システムコース」、「経営システムデザインコース」の合算情報を掲載しています。

主な就職・進学状況(2016年3月卒業生実績) ※就職先・進学先の詳細は順不同 ※大学院修了後の進路は→p.151

【就職先】医療システムズ株式会社、株式会社インフォテック朝日、NECエンジニアリング株式会社、NTTコムウェア株式会社、株式会社NTTデータ、キョーセイコム株式会社、クックパッド株式会社、コニシ株式会社、株式会社コンタム、株式会社鷺宮製作所、さくら情報システム株式会社、大日本印刷株式会社、TIS株式会社、株式会社テクノサイト、東京海上日動システムズ株式会社、株式会社東芝、東洋電機製造株式会社、日本年金機構、日本発条株式会社、日本郵船株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日本経済新聞社、株式会社日本航空、日本信号株式会社、日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社、日本ユニシス株式会社、株式会社ネクスト、バイオニア株式会社、株式会社ハイマックス、東日本電信電話株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、三菱電機株式会社、株式会社日立ハイシステム21、ファナック株式会社、富士ゼロックス株式会社、マックスグループ株式会社、



取得可能な資格

第一級陸上特殊無線技師(別途定められた課程の履修が必要)、第三級海上特殊無線技師(別途定められた課程の履修が必要)

教員一覧／専門分野・研究分野の紹介

情報ネットワークシステム領域 安全で円滑な情報の流通をもたらす情報ネットワーク技術、高性能で信頼性の高い情報システムを実現するための理論と実装、複雑で高機能なシステムを解析、評価、設計、最適化するための理論と応用、などに関する研究

通信システム領域 電磁界、電気信号、超音波などを伝送媒体とする通信技術、その応用としての生体・生命体等の計測・評価、電磁・光信号等を介した環境計測、電磁環境評価、環境に関する予測や影響評価、などに関する研究

情報ネットワークシステム領域

アサカ タクヤ
朝香 卓也 教授

博士 (国際情報通信学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/a/629.html

- 主な担当科目 ネットワークシステム論/社会システムシミュレーション論
- 研究テーマ 安全で快適な次世代情報環境の実現を目指した、情報ネットワークシステム技術とその応用に関する研究開発

情報ネットワークシステム領域

カインマ ヤスタカ
開沼 泰隆 教授

博士 (学術)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ka/641.html

- 主な担当科目 生産システムマネジメント論/ロジスティクスシステム論
- 研究テーマ サプライ・チェーン・マネジメント、リバース・ロジスティクス

情報ネットワークシステム領域

カシハラ ヤスヒロ
梶原 康博 教授

学術博士
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ka/644.html

- 主な担当科目 計画工学/生産システム設計特論
- 研究テーマ 生産システムの設計・管理、ロボット・画像処理を用いた作業の自動化、人工現実感を用いた工程設計などに関する研究

情報ネットワークシステム領域

フクモト サトシ
福本 聡 教授

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ha/688.html

- 主な担当科目 ネットワークアーキテクチャ/情報代数と符号理論
- 研究テーマ 耐故障計算技術 (並列分散システム、自己回復可能なコンピュータ)

情報ネットワークシステム領域

ミウラ ユキヤ
三浦 幸也 教授

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ma/695.html

- 主な担当科目 論理回路/デジタル電子回路
- 研究テーマ コンピュータシステムと構成要素の高信頼性・機能安全・テストに関する研究

情報ネットワークシステム領域

ヤスタ ケイイチロウ
安田 恵一郎 教授

工学博士
http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ya/843.html

- 主な担当科目 システム最適化理論/システム最適化特論
- 研究テーマ システム工学。最適化手法と電力システムへの応用

情報ネットワークシステム領域

ヤマモト ヒサシ
山本 久志 教授

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ya/703.html

- 主な担当科目 品質工学/システム信頼性
- 研究テーマ 大規模・複雑化するシステムの設計や評価技術に関する研究およびデータマイニング技術を利用した情報抽出技術に関する研究

情報ネットワークシステム領域

シバヤ マサヒロ
渋谷 正弘 准教授

博士 (学術)

- 主な担当科目 経営情報システム論/産業プロセスシステム設計特論
- 研究テーマ 企業情報の知識化に関わるIT活用技術

情報ネットワークシステム領域

ソウマ タカオ
相馬 隆郎 准教授

博士 (工学)
http://www.se.tmu.ac.jp/eee/faculty/index.html

- 主な担当科目 実践数値計算法
- 研究テーマ 精度保証付き数値計算法、ロボット工学

情報ネットワークシステム領域

ニシカワ キヨシ
西川 清史 准教授

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/na/683.html

- 主な担当科目 オペレーティングシステム/オブジェクト指向プログラミング
- 研究テーマ 信号処理、メディア情報伝送、適応信号処理

通信システム領域

アボ マコト
阿保 真 教授

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/a/630.html

- 主な担当科目 通信工学/デジタル通信
- 研究テーマ 電波や光を利用した遠隔環境情報計測およびその情報を伝送するシステムの研究

通信システム領域

スズキ ユキヒサ
鈴木 敬久 教授

博士 (工学)
http://www.se.tmu.ac.jp/eee/faculty/research/ele_mag_app/index.html

- 主な担当科目 電磁波工学/基礎電気回路
- 研究テーマ 生体電磁気学、プラズマ工学、数値シミュレーション

通信システム領域

タガワ ノリオ
田川 憲男 教授

博士 (工学)
http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/t-lab/tagawalab/Welcome.html

- 主な担当科目 パターン認識/確率統計工学
- 研究テーマ コンピュータビジョン、画像応用技術、超音波信号処理

通信システム領域

タキ マサオ
多氣 昌生 教授

工学博士

- 主な担当科目 電磁環境工学特論 (大学院) / 確率と統計 (学部)
- 研究テーマ 環境電磁工学。特に電磁界の生体作用、騒音制御

通信システム領域

マツイ タケミ
松井 岳巳 教授

博士 (医学)
http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/matsui-lab/

- 主な担当科目 セイフティマネジメント論/産業心理学
- 研究テーマ 人間工学、医療工学、安全工学、工学と医学の両方の側面から、医療や安全に関わるシステムの研究開発

通信システム領域

ウチダ サトン
内田 諭 准教授

博士 (工学)
http://researchmap.jp/read0192152/?lang=japanese

- 主な担当科目 光電波伝送工学/プログラミング演習
- 研究テーマ 放電物理、プラズマ応用、静電気学

通信システム領域

オオクボ カン
大久保 寛 准教授

博士 (工学)
http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/kokubo/index.html

- 主な担当科目 電磁気学/情報通信数学第二
- 研究テーマ 波動情報工学 (信号解析、数値シミュレーション、電磁界計測) に関する研究

通信システム領域

シバタ ヤスクニ
柴田 泰邦 准教授

博士 (工学)
http://www.comp.tmu.ac.jp/ldlar/labo/

- 主な担当科目 制御理論/電磁波工学
- 研究テーマ 地球・都市環境問題に役立つリモートセンシングシステム (光計測、非接触可視化など) に関する研究

エネルギー情報システム領域 多様な技術分野に貢献する機能デバイスとその応用としての電子システム、社会・産業に不可欠なパワーエレクトロニクス、エネルギーマネジメント、電磁エネルギー応用、エネルギー・環境応用、などに関する研究

エネルギー情報システム領域

シミズ トシヒサ
清水 敏久 教授

工学博士
http://www.comp.tmu.ac.jp/pelab/

- 主な担当科目 回路理論/パワーエレクトロニクス
- 研究テーマ 半導体電力変換工学、半導体電力回路のモデリング・制御と産業応用

エネルギー情報システム領域

スハラ ミチヒコ
須原 理彦 教授

博士 (工学)
http://www.se.tmu.ac.jp/eee/faculty/research/device/index.html

- 主な担当科目 電気電子解析論/電気電子材料
- 研究テーマ 量子電子工学・半導体デバイス工学

エネルギー情報システム領域

トチクボ フミヨシ
朽久保文嘉 教授

博士 (工学)
http://www.comp.tmu.ac.jp/gdpl/

- 主な担当科目 電磁気学/電気エネルギー工学
- 研究テーマ 放電物理、パルスパワー、気体放電プラズマとプラズマ化学反応の基礎とその応用。特に環境浄化技術への応用

エネルギー情報システム領域

ミウラ オオスケ
三浦 大介 教授

博士 (工学)
http://www.comp.tmu.ac.jp/eeesuper/index.html

- 主な担当科目 物性論基礎など
- 研究テーマ 超伝導工学 (超伝導材料、超伝導応用)、磁気分離による環境浄化と資源回収

エネルギー情報システム領域

ワタナベ ヤサアキ
渡部 泰明 教授

工学博士
y.watanabe@ieee.org

- 主な担当科目 電子回路/電子回路演習
- 研究テーマ 電子工学、計測工学

エネルギー情報システム領域

ゴカ シゲヨシ
五箇 繁善 准教授

博士 (工学)
http://researchmap.jp/read0192151/

- 主な担当科目 電子回路/電子回路演習
- 研究テーマ 精密な周波数・時間・時刻の発生とその応用に関する研究

エネルギー情報システム領域

ナカムラ セイジ
中村 成志 准教授

博士 (工学)
http://www.tmu.ac.jp/cooperation/tmunavi/index/se/eee/12711.html

- 主な担当科目 半導体工学
- 研究テーマ 応用物性、結晶工学

エネルギー情報システム領域

ワダ ケイジ
和田 圭二 准教授

博士 (工学)
http://www.comp.tmu.ac.jp/pelab/

- 主な担当科目 エネルギー機器構成論/基礎制御理論
- 研究テーマ パワーエレクトロニクス、特に分散型電源や電力系統応用に関する研究

情報ネットワークシステム領域

サカイ カズヤ
酒井 和哉 助教

博士 (工学)
http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/kazuyasakai/

- 研究テーマ 情報ネットワーク、ネットワーク・セキュリティ

情報ネットワークシステム領域

ジャオ シャオ
肖 霄 助教

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/sa/3197.html

- 研究テーマ システム信頼性評価に関する研究

情報ネットワークシステム領域

タムラ ケンイチ
田村 健一 助教

博士 (工学)
http://researchmap.jp/tamu/

- 研究テーマ システム工学。特に最適化手法と制御理論

通信システム領域

アルフレード キック
Alfred Kik 助教

博士 (工学)
http://www.researchmap.jp/alfredkik/

- 研究テーマ 電磁波工学

通信システム領域

サトウ タカユキ
佐藤 隆幸 助教

博士 (工学)
http://researchmap.jp/read0064689/?lang=japanese

- 研究テーマ 超音波生体画像、生体医学

通信システム領域

ハシヅメ アヤコ
橋爪 絢子 助教

博士 (感性科学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ha/685.html

- 研究テーマ 人間中心設計、ユーザエクスペリエンスデザイン、ユーザ調査

通信システム領域

カ ギキン
何 宜欣 助教

博士 (工学)
http://www.sd.tmu.ac.jp/RDstaff/data/ka/640.html

- 研究テーマ 動作認識、ユーザーモデルの構築、データ可視化

エネルギー情報システム領域

サイトウ ミツフミ
斉藤 光史 助教

博士 (工学)

- 研究テーマ 化合物半導体結晶成長・半導体デバイス工学

エネルギー情報システム領域

ツチヤ ジュンイチ
土屋 淳一 助教

工学修士

- 研究テーマ 電気機器、電気エネルギー工学、パワーエレクトロニクス

エネルギー情報システム領域

ナカガワ コウスケ
中川 雄介 助教

博士 (工学)
http://www.comp.tmu.ac.jp/gdpl/

- 研究テーマ プラズマ工学、高電圧工学、分光診断